

シニア川柳 入選作品発表

入選作品 掲載順は不同です

～お題～

「感謝」 又は 「美」

北は北海道から、南は鹿児島県まで、総人数210人555句の川柳が寄せられました。
たくさんのご応募ありがとうございました！

入選作品の紹介カードが複数枚表示されています。中央には「大賞」の賞状が貼られています。

- 賞状: 在りし日の親のぼやきが 道標 (一関市 綿帽子 71歳)
- 「感謝」: 食べた野菜に 感謝して (一関市 千葉 好江 73歳)
- 「美」: 美人だと 言われマスクが 外せない (宮崎市 アカエタカ 70歳)
- 「感謝」: 空き部屋に 感謝残して 子が巣立つ (石巻市 木立慈雨 60歳)
- 「美」: 美人の湯 あきらめ今は 長寿の湯 (東京都 陽気妃 75歳)
- 「感謝」: 謝恩会 杖と感謝を 置き忘れ (札幌市 かばくのかば 69歳)
- 「美」: バアさんが なかなか出ない 美人の湯 (春日部市 らくちゃん 76歳)
- 「感謝」: なき日よき日と 心える (佐渡市 おーさん 73歳)
- 「美」: 何事も 自分より ルンバの出来に 感謝され (鹿児島市 ようよう 66歳)
- 「感謝」: 四十年 連れ添う妻に 未だ言えず (一関市 いとう滋 71歳)

～ 司書さんによる講評 ～

- ・力作ばかりで悩みました。
- ・個人的な思いや世相について素直に詠んだ句が多く、お題が「感謝」の方はその気持ちが率直に伝わってきました。
- ・クスリと笑えたり、なるほどと思ったり、シニア世代の思いが伝わる句でした。
- ・何気ない日常を自分の言葉で語る川柳は情景がうかび、笑いあり涙ありでつい、繰り返して口にしてしまうものばかりでした。
- ・自分も感謝と笑顔を忘れず、味わいのあるシニアを目指したいものだと思います。
- ・じんとくるもの、クスッとするもの、詠んだ方の生活や思いが伝わってくる川柳ばかりでした。
- ・「四十年 連れ添う妻に 未だ言えず」を詠んだ方が入選した際には、ぜひ奥様に感謝をお伝えいただければと思います！

主催：一関市シニア活動プラザ

協力：一関市立図書館

一関図書館	花泉図書館
大東図書館	千厩図書館
東山図書館	室根図書館
川崎図書館	藤沢図書館